

設置説明書

還元野菜整水器

TRIM AG-30

お客様に満足してご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みのうえ正しい取り付けをお願い致します。配管及び電気工事はすべて「建築基準法」、「水道法」、「電気工事士法」、「電気工事業の業務の適正化に関する法律」、各市町村の条例規定に準じておこなってください。

※本製品の取り付けには、配管工事(建設業:管工事業種)と電気工事が必要な場合があります。(設置場所の近くに200-240V用アース端子付きコンセントがない場合)

※配管及び電気工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者及び電気工事業者の方にこの設置説明書を確実にお渡しいただき、工事を依頼してください。

本体設置の前に

■ 事前に設備工事が必要な場合

取扱説明書(表紙裏面)の「事前に設置場所と設備、及び使用条件を確認してください」を確認いただき、設備工事が必要な場合は、事前の設備工事をお願いします。

● 次のような場所には、設置しないでください。

- ・高温(60℃以上)になる機器等の近く。
- ・直接日光が当たる場所。
- ・湿気やほこりの多い場所。
- ・風雨にさらされる場所。
- ・油が付着しやすい場所。
- ・凍結の可能性がある場所。

※本器は屋内での使用を想定した仕様です。また凍結の可能性がある場合は、凍結防止の対策が必要です。水漏れ等の原因になります。

- 本器は水圧が0.4MPa～0.7MPaの範囲が推奨圧です。水圧が低すぎると、貯水タンクに溜まる時間が長くなります。また、高すぎると故障の原因になります。
- 出水口(取水口)や排水口に灌水ホースや灌水ポンプを直接つながないでください。必ず、取水は貯水タンクに溜めてください。
- 原水は、水道水又は清浄な地下水以外には使用しないでください。
- 上水道以外(地下水)を使用する時は、必ずプレフィルターセット(別売品)を取り付けてください。
- 次のような水は通水しないでください。

・川の水や、汚れ・濁りの多い水

・赤サビの多い水

・50℃以上のお湯

・塩分の多い水(海岸近くの井戸水など)

} 故障の原因になります。

AG-30の本体設置

- 平らな場所に置いてください。不安定な場所や傾いたところには置かないでください。
- 本器の施工用に給水配管を新設した場合は、給水配管を接続する前に蛇口を開け10～15分程度の通水をし、配管内のごみを出してから給水配管を接続してください。
- AG-30の配管接続の口径サイズは全てG3/4です。給水元の接続口が異なる場合は別途工事が必要です。
- 出水(取水)ホースは、本体の出水口(取水口)より1m以上高くしないでください。
- 排水ホースは、本体の排水口より低くしてください。
- 電解水貯水タンクは、本体の近く(5m以内)に設置してください。
- 2台以上設置する場合は電解槽交換時の作業スペースを確保するために、機器同士を30cm以上離してください。
- アース線端子付きコンセントがない場合は、アース(接地)工事を必ず行ってください。
- 給水部の配管はフレキパイプ(金属製品)で接続してください。

※給水元から本器までの配管距離は、フレキパイプ2m分で接続できる長さが基準です。フレキパイプは3m分付属していますが、距離が遠くなると配管抵抗が増えるため給水(通水)量が減少します。できるだけ給水元に近い位置に設置してください。

※フレキパイプ(1m)を1本追加するごとに給水(通水)量は基準値より0.5～1ℓ/分前後減少します。



警告 ※ 本器及び付属品を扱う場合は「取扱説明書」を熟読の上、ご使用ください。

 禁止	配管工事(建設業:管工事業種)及び電気工事(電気工事業者)は関連する法令・規定に従って法的有資格者によって実施し、資格者以外は実施しない。
	電源コードを傷つけたり、破損するようなことはしない。 ・ステープルなどで固定したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
	1つのコンセントに多数の電気製品の電源コードを接続しない。
	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない。
 指示	電源電圧(AC200-240V)以外の電圧で使用しないこと。
	コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込むこと。
	差し込み口がゆるいコンセントには、使用しないこと。
 指示	電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜くこと。 ・電源コードが傷んだ場合などは、当社に修理を依頼してください。(裏表紙)
	本器を誤って水中に落としたり水没したりしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、本器を引き上げること。 ・当社に修理を依頼してください。(裏表紙)
 指示	本器の異常・故障が発生した場合は、直ちに使用を中止し電源プラグを抜くこと。
	・点検または修理は当社にご相談ください。(裏表紙)

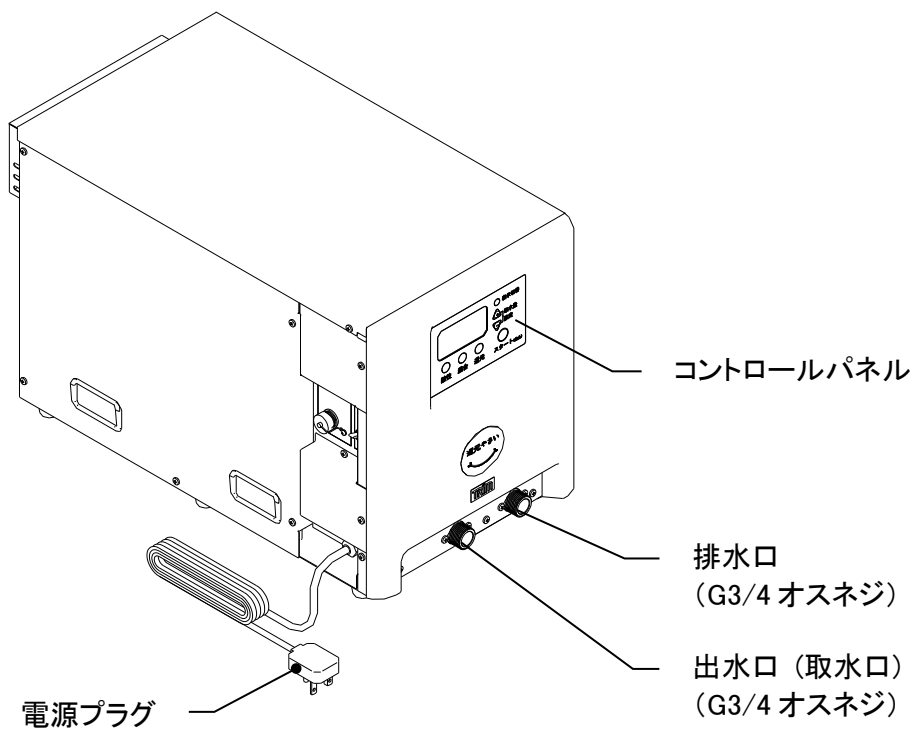


注意 ※ 本器及び付属品を扱う場合は「取扱説明書」を熟読の上、ご使用ください。

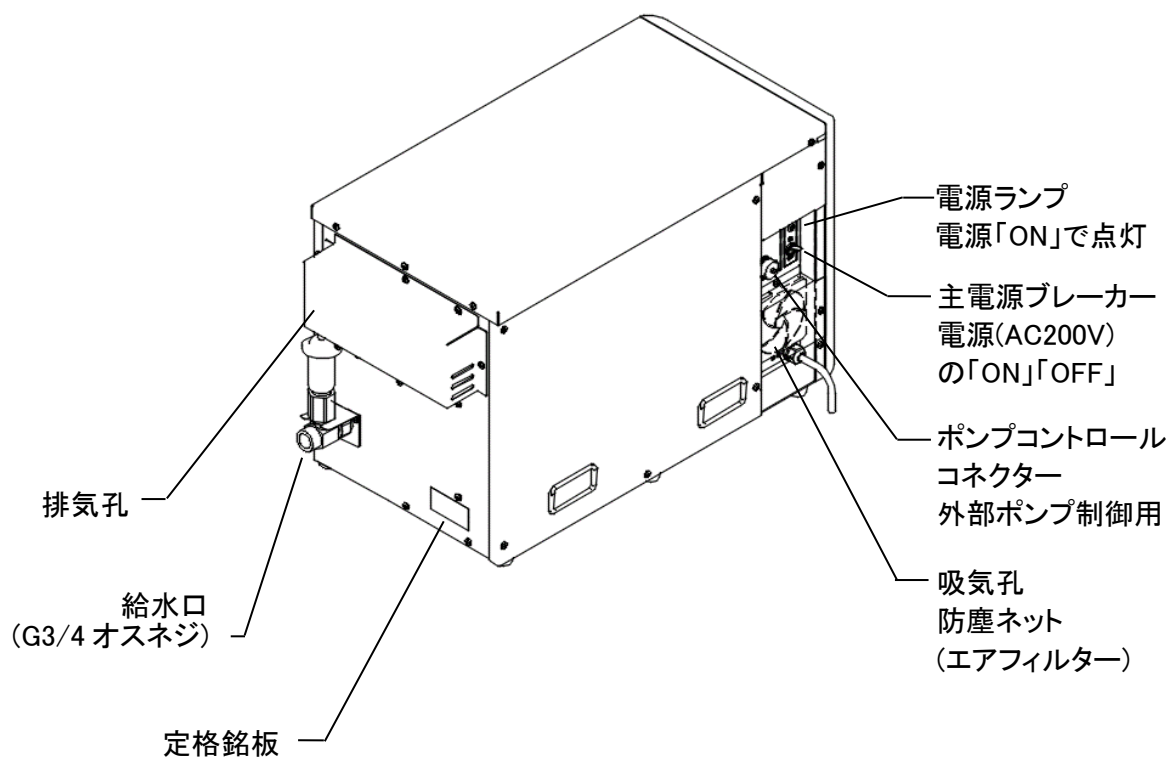
 禁止	50°Cを超えるお湯を本体側に通さないこと。(表紙裏参照)
	本器に使用を許されている構造部品以外を実装、または接続しないこと。
	給湯器や温水器などに直結しないこと。
	水の出口を塞いだり、ホースを折り曲げたり、ねじったりしないこと。
	本器の上に物を置かないこと。
	本体を寝かした状態で使用しないこと。
	出水(取水)ホースや排水ホースの先端を、排水口などのおいの強いところや、水面に触れさせた状態で使用しないこと。 ・止水した時に嫌なにおい、水や不純物などを排水ホースから吸い上げる場合があります。
 指示	アース線端子付きコンセントでアース線を必ず接続してください。 ・アース線端子付きコンセントがない場合は、アース(接地)工事を必ず行ってください。
	平らな場所に置いてください。 ・不安定な場所や傾いたところには置かないでください。
 指示	水の出口をふさがないでください。
	配管や本体および接続部分に衝撃を与えないでください。 ・故障の原因となります。
	水漏れをした状態のまま、使用しないでください。 ・速やかに給水元(ボールバルブ)を閉め、当社にご連絡ください。
	取り扱いを間違えると故障の原因となるので、使用方法、使用上の注意を必ずお守りください。

各部の名称

■本体正面

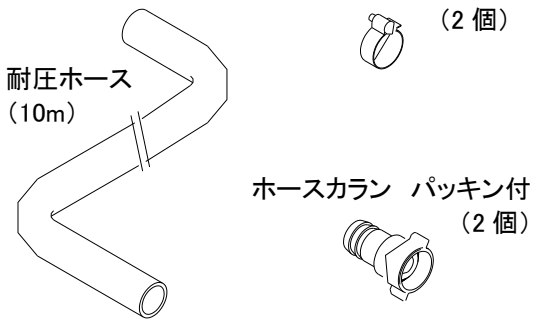


■本体背面

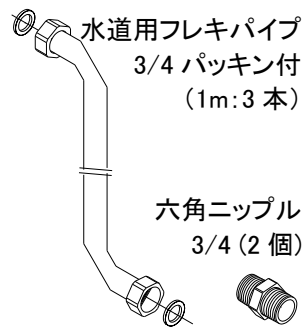


標準付属品

配管部品

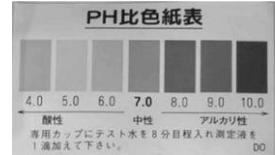


給水配管部品

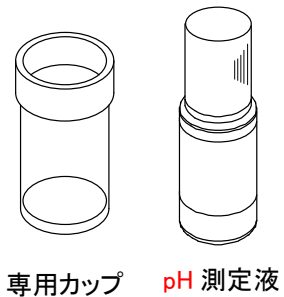


24 mm ストレーナー
パッキン付(1個)
予備部品

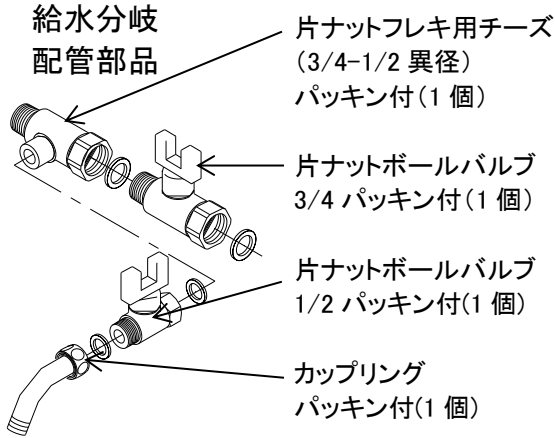
pH 測定キット



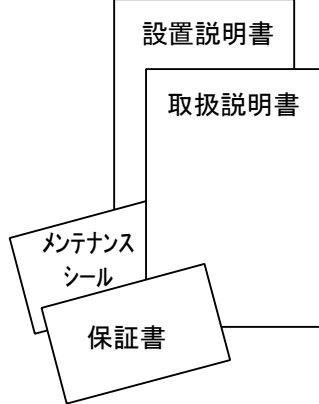
PH 比色紙表



給水分岐配管部品



文書類

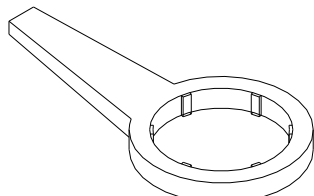


別売品 (オプション部品)

プレフィルターセット AG-30 組立部品

プレフィルターセット構成

- ・ フィルターハウジング(上部)
- ・ フィルター受け(1個)
- ・ フィルターハウジング(下部)
- ・ 締め付け工具(1個)

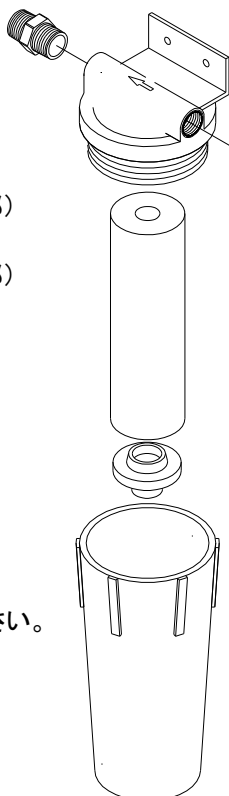


- ・ 活性炭フィルター(1本)
鉛除去 約 60t

※交換時は販売店に連絡ください。

必要工具

- ・ 六角レンチ(3)
- ・ モンキーレンチ



吊金具
S 字フック (2個)

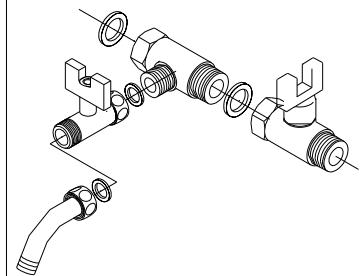
配管部品
六角ニップル 3/4 (2個)

配管部品
水道用フレキパイプ 3/4 パッキン付 (1m:1本)

その他

出水(取水)分岐配管部品
※構成部品は給水分岐配管部品と同じ

出水(取水)配管を外さずに排水する必要がある場合

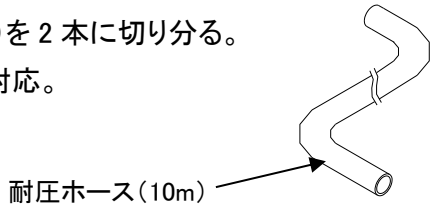


1. 配管の組立及び接続

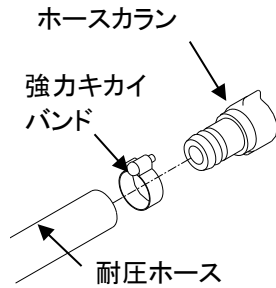
1 接続ホース(取水ホース、排水ホース)の組立

耐圧ホース(10m)を2本に切り分る。

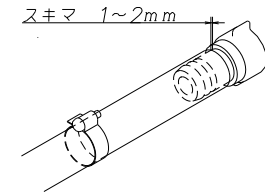
※長さは現場対応。



●ホースカランの取り付けカットしたホースに強力キカイバンドを通しホースカランを差し込む。

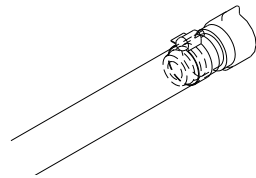


●ホースにホースカランを差し込むときにカランのナット部が回るように少し隙間をあける。



●強力キカイバンドのねじを締め付ける。

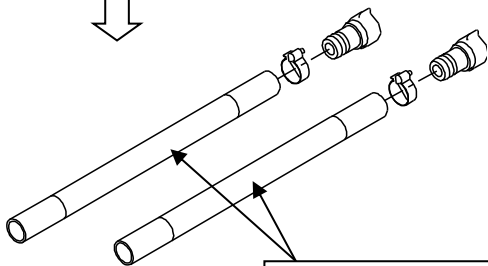
※ホースが外れないか確認する。



●同じ要領で上記ホースを2本作製する。



●上記の手順でホース接続部を2本作る。

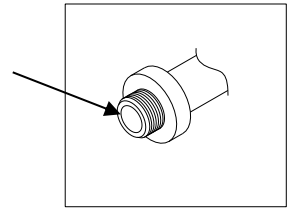


(組立部品)
耐圧ホース 2本
強力キカイバンド 2個
ホースカラン 2個

2 給水元への接続

●給水元の出口ネジ部は G3/4(オス)にしてください。

ネジ部G3/4(オス)

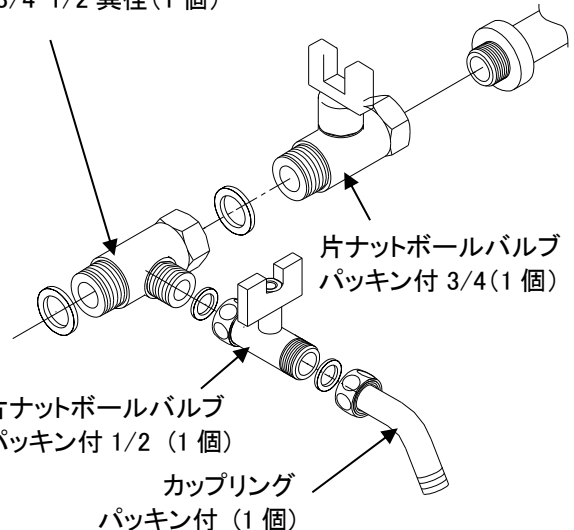


※給水元配管の口径は 20A(1台設置の場合)以上が推奨です。給水(通水)量と水圧が不足する場合、取水量が減少します。性能を満たすためには別途工事が必要な場合があります。給水元配管は事前打ち合わせの上、配管径を決定してください。

●給水元の出口に給水分岐配管部品を右記の接続図にしたがって給水元からの配管を接続してください。

給水分岐配管部品

片ナットフレキ用チーズパッキン付
3/4-1/2 異径(1個)



3 給水配管の接続

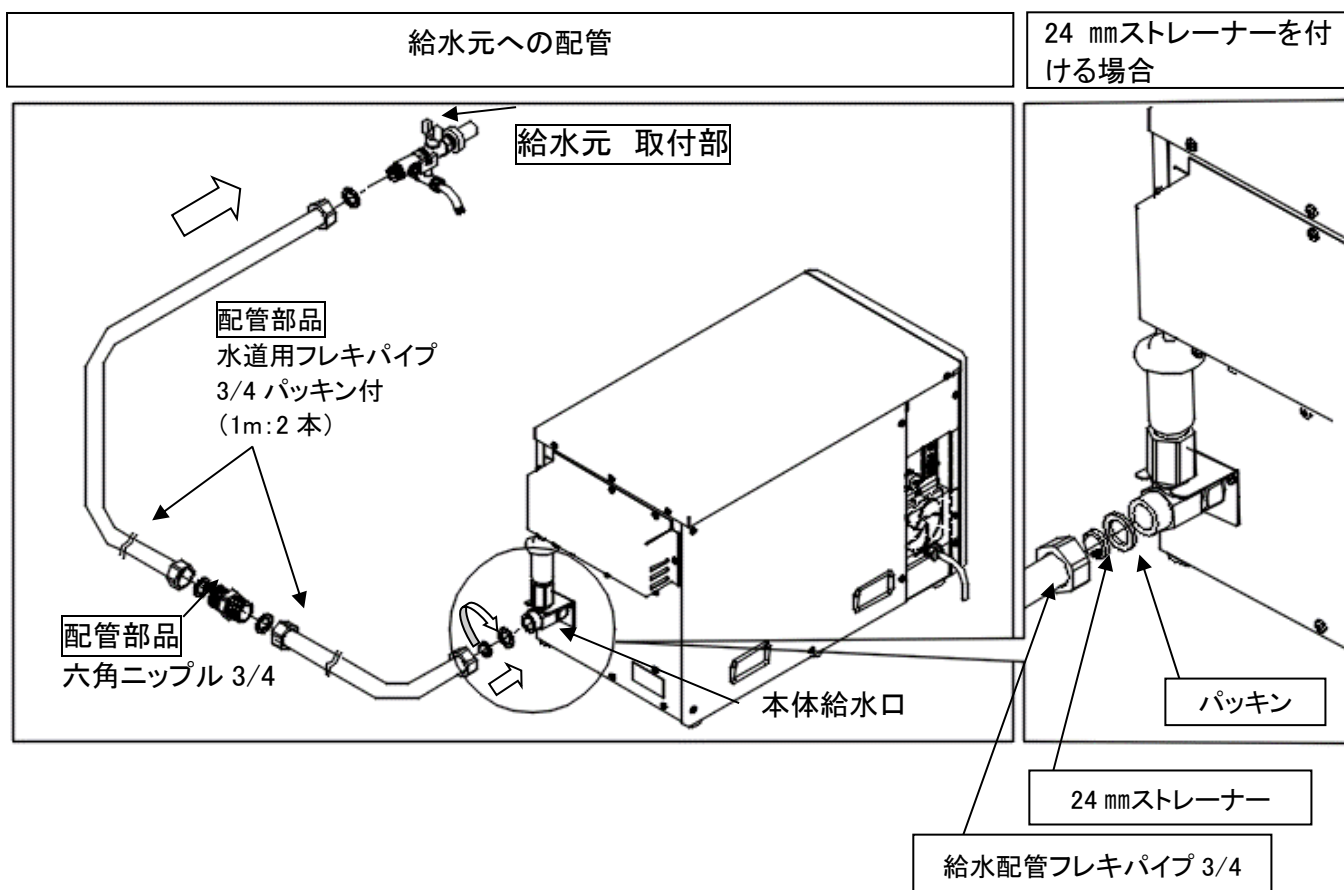
●接続前の確認項目

本器は、本体背面の給水口と水道用フレキパイプの間に 24 mmストレーナーを入れることを推奨します。ただし 24 mmストレーナーを入れると給水(通水)量が基準値より 0.5~1 ㍈/分前後減少します。

●本体背面に給水配管を接続 (給水元からの配管)

給水配管は水道用フレキパイプ 3/4 を六角ニップル 3/4 でつないで、給水元と本体背面の給水口に接続してください。給水元配管から本器までの距離は、フレキパイプ 2m 分で接続できる距離が仕様を満たす基準です。フレキパイプは 3m 分付属していますが、接続距離が長くなると配管抵抗が増え、給水(通水)量が減少します。できるだけ給水元に近い位置に設置してください。

※フレキパイプ(1m)を 1 本追加するごとに給水(通水)量は基準値より 0.5~1 ㍈/分前後減少します。

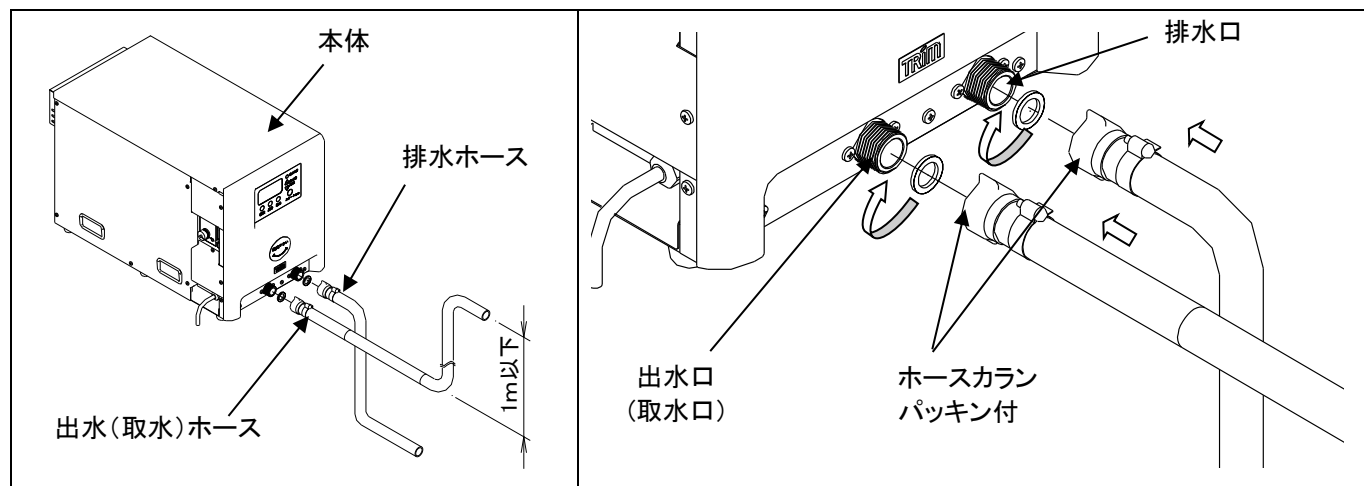


※24 mmストレーナーの取り付け方向は、凸側がフレキパイプ側に付くように取り付けてください。

※常時水圧が加わっている為、水漏れの可能性があります。しっかりと接続してください。

4 本体前面のホース接続

本体前面の出水口(取水口)、排水口にそれぞれ接続ホースを締付ける。



● 出水(取水)ホースの取り付け上の注意点

※出水(取水)ホースは、本体の出水口(取水口)より1m以上高くしないでください。高くなると取水量が減少し、ためる水量の誤差が大きくなります。また出水(取水)ホースはできるだけ短くしてください。

● 排水ホースの取り付け上の注意点

※排水ホースは、本体の排水口より低くしてください。出水(取水)に排水が混入する可能性があります。

● ホース接続の注意点

※出水(取水)ホース、排水ホースの先を灌水ホースや灌水ポンプに直接つながないでください。

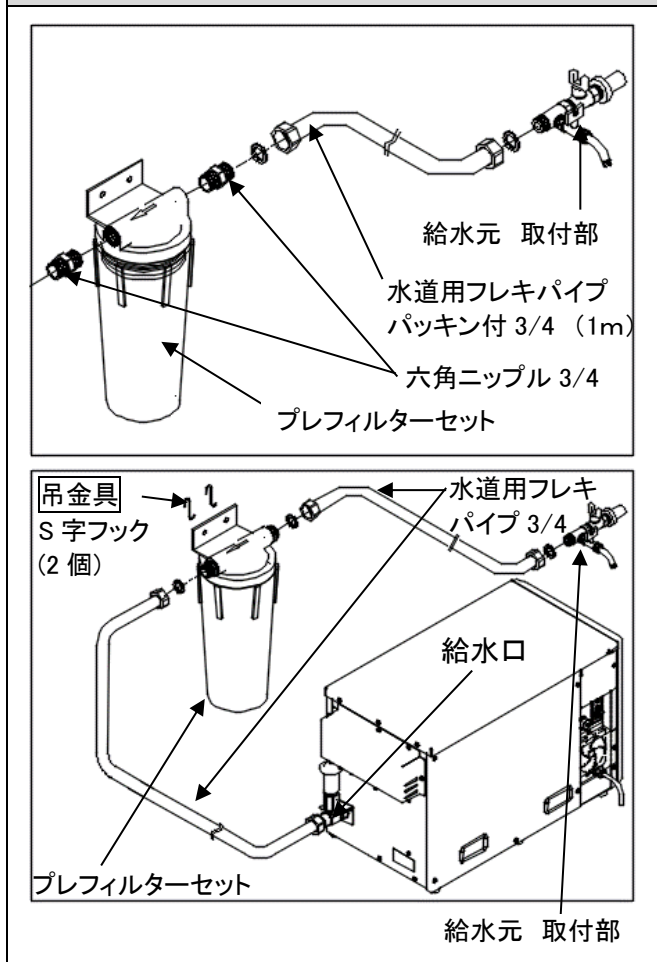
5 別売品について

プレフィルターセット

●上水道以外(地下水)を使用する時は、給水元の配管にろ過フィルターの設備がない場合、機器故障の原因になるため、プレフィルターセット(別売品)を取り付けてください。

※プレフィルターセットの取り付けは給水元の取り付け部と本器給水口との間に接続してください。プレフィルターセットは S 字フック(付属品)で吊るしてください。固定したい場合は別途工事が必要です。

プレフィルターセット組立部品

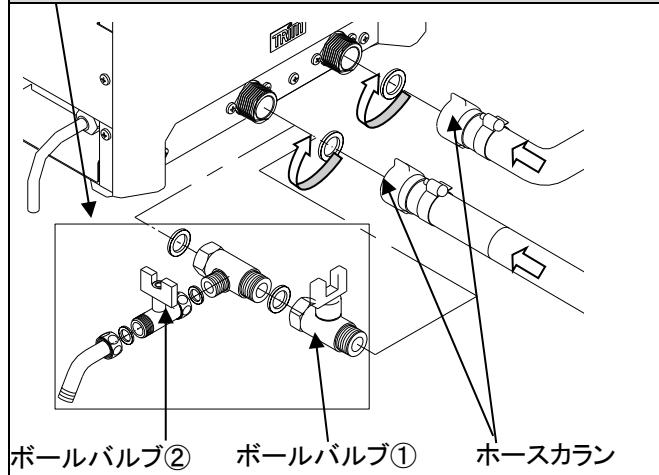


出水(取水)分岐配管

●機器内部の洗浄を行うなど、取水路から分岐を取りたい場合に出水(取水)分岐配管(別売品)を取り付けることができます。

※本部品を使用する場合はボールバルブ①を閉め分岐側のボールバルブ②を開けて排水してください。また、洗浄等の作業終了後、必ず分岐側のボールバルブ②を確実に閉めボールバルブ①を全開にしてください。ボールバルブ①を全開にしないと比率が変わり、ためる量に誤差が生じます。必ず全開にしてください。

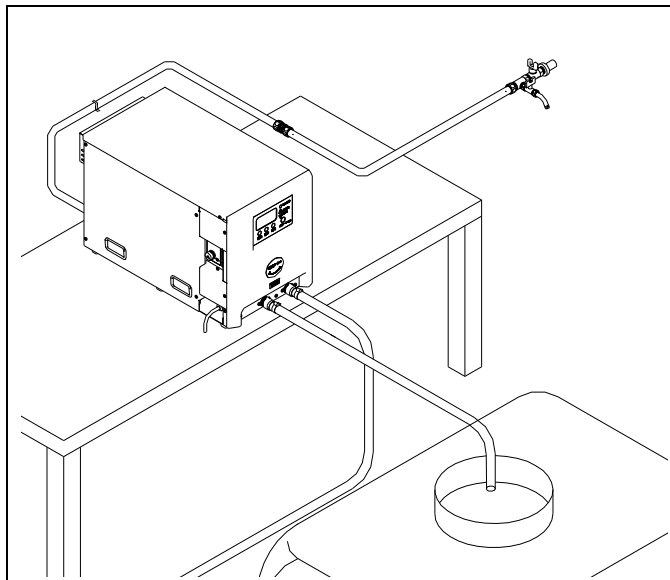
出水(取水)分岐配管部品(別売品)
※構成部品は給水分岐配管部品と同じ



6 貯水タンクの設置

貯水タンクはお客様側でご用意ください。

※貯水タンクを設置する場合は、本体の近くに
(5m 以内)設置してください



2. 電源コードの接続

電源コードのプラグ(WF5324/Panasonic)をアース付きコンセントに差し込みます。

※本器の電源電圧は、AC200V(定格電流 7A)です。AC200Vのブレーカー(20A 推奨)及び専用コンセント(WK3811/Panasonic 推奨)の設備がない場合、別途電気工事が必要です。コンセントは本体の電源コード(2m)の届く範囲に施工してください。施工の際はアース(接地)工事を必ず行ってください。

※コンセントの形状に合わせてプラグを変更することも可能です。

3. 特殊対応仕様

及び外部システムについて

フロート(水位制御)機能、リモート(遠隔制御)機能、複数台の連結、または外部システムの設置等は別途対応となります。当社にご相談の上、設置検討をお願いします。

4. 試運転 (取扱説明書 P. 7~15 参照)

■ 試運転をするときは「取扱説明書」を熟読の上、給水(通水)してください。

- ① 本体各部の配管接続を再度確認します。
 - ・接続間違いや締付け不足。
- ② 電気配線接続を再度確認します。
 - ・電源及びケーブル類の接続間違い等。
- ③ 給水元のボールバルブを全開にします。
 - ・配管接続部に水漏れのない事を確認。
 - ・本体内部からの水漏れのない事を確認。
- ④ 本体側面の主電源ブレーカーを ON にします。(電源ランプ点灯)
- ⑤ コントロールパネルの各スイッチを押して、コントロールパネルの各表示の確認。
 - ・[還元]スイッチ:レベルが変わることを確認。
 - ・[混合]スイッチ:レベルが変わることを確認。
 - ・[酸性]スイッチ:レベルが変わることを確認。
 - ・取水量設定[+][−]スイッチ:ためる水量が増減することを確認。
 - ・[表示切替]スイッチを押して表示が切り替わることを確認。

[表示切替]スイッチ(表示内容)

待機中(停止中)	→ 切替(1)	→ 切替(2) → 元に戻る
<ul style="list-style-type: none"> ●還元/混合/酸性(のいずれか) ●電解レベル(1~4) ●ためる水量(最大 9900 ㍓) 	<ul style="list-style-type: none"> ●使用水量(トン) ●電解時間(時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ●通算使用水量(トン) ●通算電解時間(時間)
電解中(通水中)	→ 切替(1)	→ 切替(2) → 元に戻る
<ul style="list-style-type: none"> ●還元/混合/酸性(のいずれか) ●電解レベル(1~4) ●たまった水量(㍓) ●給水(通水)量:㍓/分表示 	<ul style="list-style-type: none"> ●還元/混合/酸性(のいずれか) ●電解レベル:1~4 ●残りの時間(分) ●給水(通水)量:㍓/分表示 	<ul style="list-style-type: none"> ●電解電流値(A) ●電解電圧値(V) ●電源温度(°C)

- ⑥ 取水量を「10 ㍓」(初期設定水量)に設定して[スタート(停止)]スイッチを押し、自動的に停止することを確認します。(バケツ等にためてください。)
- ⑦ 電解水を採水し pH を測定します。(取扱説明書 P17 参照)

※水位(フロート)センサー(別売品)を接続している場合は『スタート(停止)]スイッチを押すと自動運転モードでスタートします。下記の動作を確認します。

- ・水位(フロート)センサー低水位位置での運転開始動作の確認。
- ・水位センサー満水位置での運転停止の確認。

以上で試運転は終了です。